

貝塚中央病院

(平成 22 年 2 月 2 日訪問)

平均在院日数 361 日(平成 21 年 12 月 31 日時点)

病院全体

療養病棟(6、7、8病棟)は平成 17 年に改装。廊下幅は広く、ホールは各階に 2ヶ所。1 人当たり病室面積も 7 m²余の広さ。療養病棟の患者は、合併症がなければグランドまでは自由に出られる。病院の敷地の外に出るには付添いが必要。6 病棟と 8 病棟では、ホールに 10 人程が集まってテレビを見ていた。7 病棟ではホールで数名がカラオケを利用していた。廊下には 6 名程の患者が座り込んでじっとしていた。各階ともホールのテーブルの前に何もせずにじっと座っている患者が多かった。

隔離拘束最小化委員会

月 2 回開催。72 時間以上隔離・拘束している患者、4 週間以上の隔離・拘束の患者全員の処遇の理由を検討する。1 回の会議で 10 名ほどの患者が検討の対象となっていた。

改善されていた点

前回訪問(平成 18 年 7 月)との比較、⇒は今回分

- ベッド横のカーテンがなかった。病室のポータブルトイレの周りに仕切りがなかった。⇒ほぼ全てのベッド横にカーテンが付けられていた。
- 職員が外部の研修には余り参加していない。⇒職員の教育研修は、院内で年 5 回程、責任者は外部研修にも参加。日本精神科看護技術協会大阪支部等などの研修に参加し、外部との交流の機会を増やし、新しい知識を取り入れる機会を作る努力をされている。
- 隔離室のトイレ周りに囲いがなく、職員からトイレを使う姿が丸見え。⇒トイレ前に壁を設置。
- 隔離室から看護師を呼ぶ方法として、インターホン等がなかった。⇒2 病棟はインターホンを設置したが壊されたので、その後は設置していない。3 病棟はインターホンが設置されている。
- 2、3、5 病棟のトイレの個室内にトイレトーパーは無かった。⇒設置されていた。
- 訪問した病棟の公衆電話が詰所前にあった。⇒1 病棟ではエレベーター横に、2、3、5 病棟では自動販売機の横に移設された。
- 床頭台はなく、鍵付ロッカーは有料で全員分はなかった。⇒各ベッドに液晶テレビがついた鍵付床頭台が設置されていた。テレビの利用には 400 円/日いるため、利用者はいないとのこと。

- 詰所で頼むと手渡される「お小遣い出納簿」(コピー代 1 枚 20 円)では、「売店・タバコ・日用品」という項目が計上されているが、その内訳が不明。⇒明細は希望者に発行しているとのこと。
- 金銭は多くの病棟で全員が事務所管理だった。⇒院外に出られる患者は、床頭台に入れて管理している方も少数いた。多くの閉鎖処遇の方は、雑誌が注文でき、手芸もできるようになったことを喜んでしたが、それらにかかる金額は知らない様子だった。
- 各病室にエアコンがなかった。⇒設置された。
- 電気かみそりが、病棟全体で共有されていた。⇒各人が購入する形に改善されていた。
- 精神保健福祉士が 1 名⇒7 名。
- 多くの患者には退院向けのプログラムがなかった。作業療法士はいなかった。⇒作業療法士が雇用されていた。患者からは「じっとしているだけ」との声もあったが、院内プログラムについて話す患者も増えていた。

変化が見られなかった点

(数値や患者の声は前回の記録に基づくもの)

- 診察室のない病棟があり、診察室のある病棟でも詰所で診察が行われていた。
- 1、2、3、5 病棟では分煙がされていなかった。
- 開放病棟は 1 棟だけ(406 床のうち 58 床)。平成 17 年精神保健福祉資料によると任意入院は全員開放処遇だが、実際に開放病棟にいるのは 54 名、他の患者は個別開放病棟だった。複数患者から「グランドに出れるのは 2 時~3 時」「看護師によって言いにくい」との声があった。
- 1 病棟では詰所に近いトイレは男女共用だった。1 病棟では鍵のない個室があった。3、5 病棟ではトイレ内にポータブルトイレがあり、囲いはなかった。

1 病棟(開放・男女混合)

詰所を真ん中に、開放処遇の患者と寝たきりとなり介助の必要な患者とに病室を分けている。以前 6 病棟(高齢者病棟)にいた患者が最近移動してきた。胃瘻、IVH の点滴中の患者も 6 名程。詰所は書類書きに専念している職員 6 名程で、声かけしやすい雰囲気ではなかった。ちょうど書面書きの時間であるとの職員の説明。

詰所奥の部屋には、酸素ボンベ・導尿カテーテル・心臓モニター(4 名使用)をつけた身体合併症の患者がいる。身体拘束者は、101 号室 3 名、102、103 号室でも各 2~3 名いた。

入浴は週 2 回。1 病棟に浴室があり、2、3 病棟の患者もこの病棟の浴槽を利用する。

患者の声

「落ち着ける。床頭台に物が置ける。長い入院」「家族が病気の理解がなく責められ、ここに来たら同室の人が相談に乗ってくれてよかった」「もう3年ここにいる。コンビニで買い物をする」「詰所で診察。ケースワーカーの人が一緒にいる時もある」「ケースワーカーの名前は分からない」「退院しても1人じゃ寂しいからここに置いてもらっている」

2 病棟(閉鎖・男性・精神一般)

物音は少なく静かで、ほとんどの患者がじっと座っていた。煙草がもらえる午後3時になったと同時に詰所に飛んで行った患者に対し、詰所の中から看護師が煙草を1本、窓口に放り投げている。

詰所の中で看護記録を書いている看護師の傍で医者2名が部屋の真ん中の机で診察をしていた。診察介助に男性看護師が2名立っていた。職員2名が詰所入口廊下にある長椅子に診察待ちの患者を3~4名連れてきて座らせていた。医者の声も患者の声も廊下までつつめけだつた。

隔離室(3床)

窓からの採光があった。鼻につんとくる便臭。コンクリートにそのまま布団が敷いてある。奥に水洗トイレ。水は自分では流せない。ナースコールはない。食事は扉の小窓から出し入れしている。室内から見える位置に時計が置かれていた。

病室

ベッドの部屋と畳の部屋があった。畳の部屋には敷きっぱなしの布団と隅にほうきが立ててあった。高い所に患者用収納棚があるが、扉は開けてあり何も入っていなかった。

患者の声

「入院4年目。大正区からきた。両親は死んだ。姉がいて外泊している」「退院したい。院長に話したことがある」「楽しみは1時間に1本の煙草。ごはん。週1回おやつを買って食べる。週2回の入浴。週3回OTで映画を見る。週1回の外出」「2病棟にレクリエーションはない」「入院25年している」「ロッカーの物が、よくなる。なんでやる」「主治医は理事長。診察は週に一度。薬を減らして欲しい」「退院の話は一切ない」「いところが通帳や印鑑を保管してる。医者がいいと言うまでは退院できんと言われた。いところに相談しているが、こわい人」「薬で並んでいたら、耳の裏を誰かに切られた。看護師さんに言っても、とりあってもえなかった」「入院して3週間。入院は3ヶ月の予定。休めている」

3 病棟(閉鎖・女性・精神一般)

先月に入院した患者と超長期入院の患者とが混在。飲物の自動販売機が設置され専用のカードで支払う。カードは詰所で預かる。食堂にただ座っている人、廊下に居る人などそれぞれ過ごしていた。学校の上履きのような名前入りの白い靴をはいている患者を多く見た。

患者の声

「入院して10年。退院先がない。ケースワーカーはグループホームに行くかと聞いてくれたが、時間が経っている。通信教育で教材を買ってポーチ作り等して時間を過ごしてる」「入院して5年。任意で1階に入院、外泊時に保護者と喧嘩、それ以降は付き合いが悪くなり三男が面会に来てくれるものの、保護者との間に誰か入って相談にのって欲しい。退院したい。コンビニに買物に行くのが楽しみ、診察は週1回。また会いに来て欲しい」「昭和44年に入院。私がこの病院では一番古い」「もう入院して長い。主治医に退院の話をしてはぐらかされる」「歯が悪くて困っている。歯医者さん?行っていない」「外出は月1回ぐらい」「お金は持っていない。(飲物の)カードは詰所で預かっている。私は生保だから使えない」「詰所で看護師さんが休憩中、おやつとか食べているのを見ると、自分が食べられないのでしんどい。仕事場と休憩場所を分けて欲しい」「婦人ホームにだったら退院しても言いと主治医から言われたけど、婦人ホームってどんどころですか」「電話?家以外かけられない」「家族が来たときだけ外出できる」

5 病棟(閉鎖・男性・精神一般)

詰所横に重症患者の部屋がある。酸素、モニター、点滴がされている。4名のうち3名が両手足に布の抑制帯で拘束されていた。残り1名はほとんど動けないので拘束はしていない。部屋には看護師2名が頻回に出入りし、身体管理がなされていた。畳部屋では、畳を汚す人がいるため、畳全面にゴザが敷かれていた。

患者の声

「不便はないですが、お金がかかる」「退院したいけれど、どうしたらいいか分からない」「姉がいて、月に1回面会に来てくれる」「入院して40年。82歳。主治医はずっと理事長」「いつか退院したい。岸和田の地元」「入院して10年になるが、幻聴が治りません」「退院の話が出ない」「ごはんをおいしくして欲しい」「入院して20年。以前、林先生が主治医の時には任意入院への切替が早かったのですが、今の先生になってからは任意入院への切替に時間がかかっている」「個人の引出に鍵がかかるようになったが、それ以外の所で、おかし、CDプレイヤー等を盗まれ

た。廊下のロッカーは月 600 円」「テレビ使用には 400 円/日かかり、私は使えない。冷蔵庫は電気が入らないので飾り」「看護師さんによっては、同じ質問をしたらきつく言われることがあるので、それ以上は聞けない」「後見人のおじさんと口げんかをして、付き合いが悪くなってる。おじさんは任意入院を認めたくない。間に入って欲しい。ケースワーカーが相談に乗ってくれている」「退院したい。年金の手続きをしたい。職員には話していない」「新聞は詰所の中にある。読めない」「〇〇さんが他の患者さんにポコポコにされていた」「(看護師に頼みごとをする)いやな顔をされる」

6 病棟(閉鎖・男女混合・療養)

平成 17 年の保険外費用(煙草が 280 円)が掲示されていたので現在のものに変えるようお願いをした。献立表が見えやすい場所に掲示しており、文字も大きく読みやすい。ポータブルトイレやオムツを利用している患者が多いためか、病室で便臭がした。患者から「オムツを替えて欲しい時は看護師さんを呼ぶが、なかなか来てもらえない」との声があった。

前向きな取組みなど

- 平成 21 年 2 月よりデイケアを開始。
- 平成 20 年に、ワンルームマンションを利用して、定員 6 名のグループホームを開設。平成 21 年には府営住宅を活用して 3 名定員のグループホームを 2 ヶ所開設。現在 3 ヶ所で 12 名分のグループホームを運営している。入居者の半数程がデイケアに通っている。
- 作業療法室ができ、各病棟から週 1~2 回利用ができる。1 回に 20 名程が利用。
- これまで大阪市の退院促進事業を利用して 3 名が退院に至った。3 名の中には、大阪市内の地域生活支援センターと連携して退院に成功した事例が含まれる。現在 3 名の患者の退院をこの事業の中で支援中。大阪府の退院促進事業では、1 名が貝塚市内に退院。1 名は中断。
- ここ数年間に精神保健福祉士および作業療法士の数を増やし、作業療法室、デイケア棟、グループホームを整備するなど、社会復帰活動に対して積極的に取り組もうとしている。

検討事項

面会室の外からの鍵かけ

2、5 病棟には面会室がなく、中庭にある 2 組用の面会室を使用する。その際、外から鍵がかけられる。プライバシーもなく、他の人の会話も耳に入るので

会話がしにくい。(病院:鍵はせずに面会していただいています。ただし、医療保護入院の方で、家族が希望される場合はかけます。)

隔離拘束最小化委員会

隔離・拘束の理由を検討し、その正当性を確認するのではなく、隔離・拘束をいかになくすのかという観点からの検討が必要である。1 病棟で両手両足を布の紐でかっちり縛ってあり「痛い」と訴える患者もいた。身体に褥瘡を作らないためにも、本人が身動きできない程のきつさはいかがなものであろうか。また、拘束による死亡事例でみられた医師の指示外で拘束帯使用がなされていたことや、総室での拘束の実情については、改善を図っていただく必要がある。(病院:御指摘のように拘束隔離の事例をいかにしてなくしていくか、どういった取り組みが必要かといった事を人権擁護の観点から検討を活発にさせていくように改善していきます。)

通信の自由の保障を

テレホンカードを詰所に預けるため、家族以外には電話をしにくい状況であった。(病院:「紛失するから預かっていて下さい」と言われ預かっていましたが、全てを自己持ちにしました。)

診察時のプライバシーの保護を

詰所で診察が行われ、医師と患者のやり取りが廊下で待っている患者などにつづぬけであった。(病院:医局会議にて詰所で診察を行わない様に説明をし、診察は診察室で行ないます。詰所内をカーテン等で囲い、なるべく声が聞こえないような工夫をし平成 22 年 6 月に工事完了予定です。)

任意入院の患者の開放処遇を

開放処遇の病棟を増やし患者の実態に即した処遇を実現し、お金がなくても病院の敷地外散歩に出かけられる工夫をしていただきたい。(病院:看護部長、師長により、より職員の周知徹底をします。今後開放病棟を増やし患者の実態に即していきます。)

個別の状況にあわせた配薬方法を

薬は患者がデイルームへ取りに行くことになっていた。また「(薬は)口を開けて、飲まされる」「薬の説明は聞いたことがない」と複数の患者の声があった。(病院:3 月 10 日より訪床と薬を人権面、安全管理の面からも一人ずつお願いしているところです。看護師長以下、管理職が中心になって徹底させるように指導していきます。退院が近い患者には、現在も個別的に自己管理をして頂いています。)

落ち着ける療養環境を

2、3 病棟には、急性期としての治療が必要な人、慢性期でもっと活動的な刺激が必要な人、身体合併症のある人などが混在している印象を受けた。急性期の人には特に落ち着いて治療を受けられる環境を整備する必要があると思った。3 病棟で「カラオケは

週 2~3 回。もうこの音量には慣れた」と話す人もいたが、療養環境として落ち着けないとの声もあった。療養病棟には慢性期の方が入院している。プログラムがなくてじっとしているしかないとの声もあった。(病院: 現在、精神状態が急性増悪された方、内服薬の調整を続けて治療中の方が 2,3,5 病棟に多くいます。精神状態安定時に開放病棟、療養病棟へ転棟して安定できる療養環境での治療を努めている所です。このため、超長期入院の患者でもその病棟にいます。PANSS Score、GAF 等を用いた精神症状評価等を使用して病棟の療養を整備していきたい。)

3 病棟のカラオケ音量は職員に適正な音量での病棟レクリエーションを行うよう徹底します。

療養病棟におけるプログラムについては医師、精神保健指定医、看護師、看護助手、作業療法士、精神保健福祉士でカンファレンスを行って努めている所であり継続、さらに発展させていきたい。)

男女のトイレを別に

1 病棟および 6 病棟ではトイレが男女共用であったり、男性用・女性用の区別が表示されていなかった。6 病棟では車いす用トイレは男女共用で使う。「私はそれが嫌だった」との声が女性よりあった。職員によると詰所より奥は寝たきりの患者でトイレは使わない、詰所に近い所のトイレは男女共用、入口に近いトイレ 1 室は女性用と病棟の中では了解されているとのことだった。(病院: 男性用、女性用の個別表示をいたしました。)

トイレを使いやすく

1 病棟女子用トイレには使用した紙をゴミ箱に捨てるようにとの指示があり、流しても時間がかかる。患者から「流れますか? 流れにくくて困っている」との声があった。3 病棟の個室 1 室の鍵が壊れ、尿や便が流されないままになっていた。便器の周りに便がこぼれていた。個室が使用中なのかどうか分かりにくく、使用中でも他の患者が開けてしまうことがよくあるとのことだった。(病院: 業者に再検査を依頼します。鍵は修理しました。使用時には赤マークが出ているので、問題はないですが患者の意見を伺う様にします。)

職員の一層の研修を

患者に煙草を放り投げる姿勢に驚いた。(病院: サービス向上委員会を立上げ職員意識の向上に努めます。3 月 20 日に大学から講師を迎え「接遇サービス」及び「精神障がい者の権利に関する宣言」を中心に院内講習、意見交換を行います。今後、周知徹底をはかっていきます。)

畳部屋にもカーテンを

畳部屋 1 室はカーテンがない。患者から「カーテンを付けて欲しい」との声があった。(病院: 早急に取り組むように考えています。)

おたずね

- 院内の売店に行ける患者数を教えて下さい。(病院: 1 病棟 0 名、2 病棟 31 名、3 病棟 23 名、5 病棟 22 名、6 病棟 40 名、7 病棟 24 名、8 病棟 31 名、1 病棟の方も病院内の売店を利用できますが、外出して買物をしているので 0 です。)
- 金銭管理の現状を教えて下さい。(病院: 自己管理 4 名、週渡し 11 名、月渡し 13 名、日渡し 10 名、その他 313 名は事務所で管理しています。)
- テレホンカードの自己管理者数を教えて下さい。(病院: 1 病棟 9 名+携帯電話 2 名、2 病棟 12 名、3 病棟 20 名、5 病棟 8 名、6 病棟 4 名、7 病棟 8 名、8 病棟 10 名。)
- 1 年間の救急受入れ件数を教えて下さい。(病院: 現在受け入れていません。)
- 薬剤師による薬の説明や希望者には薬の説明書の提供が行われているかどうか教えて下さい。(病院: 薬剤師による説明は実施には至っていません。薬剤管理加算を今年度取得する予定にしていますので、その後対応します。それまでは、医師が説明してまいります。昼一回分渡し、昼一回分渡しを繰り返す、一日分、一週間渡しに変更し等、その患者に合うまで、行っている。)

<追加質問と回答>

任意入院者の処遇について

任意入院 251 名のうち開放処遇制限を受けている方は何名ですか。(病院: 0 名です。全員自由にしてもらっています。)

付添料について

作業所見学、買物の練習等の場合、付添料を取らない病院もありますが、どのようにされていますか。(病院: 付添料はもらっていない。集団での見学时も同じ。むしろ交通費を負担している。)

精神保健福祉資料より(平成 22.6.30 時点)

351 名の入院者のうち統合失調症群が 204 名(58%)、認知症など症状性を含む器質性精神障害が 61 名(17%)、精神作用物質による精神及び行動の障害が 42 名(12%)。入院形態は任意入院 254 名(72%)、医療保護入院 97 名(28%)。在院期間は 1 年未満が 104 名(30%)、1 年以上 5 年未満が 107 名(30%)、5 年以上 10 年未満が 52 名(15%)、10 年以上 20 年未満が 53 名(15%)、20 年以上が 35 名(10%)。